

## 平和な社会・世界を築くために、豊かな心を育みます

今日の1校時は道徳の授業でした。どの学級においても子ども達は真剣な表情で先生の問いに対して考えていました。「なぜ、〇〇は～したのか?」「この時の〇〇の気持ちは?」「この時、あなたならどうしますか?」などの問いに対し、学習プリントに記入したり、発表したり、グループで話し合ったりしていました。どのクラスも授業に集中しています。生徒と教師が一体となり、考えている様子が伝わってきました。教科の授業とは異なる、道徳の授業ならではの雰囲気を感じました。

道徳の授業では、様々な人物の『心情』を考えることで、道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度を育てます。今日の道徳の授業を真剣に受けている子ども達を見ると、心の成長を感じます。もちろん1時間の道徳の授業だけで劇的に心が変わるわけではありません。日頃の授業や学校生活、生徒会活動、諸行事、部活動等、様々な教育活動をとおして、子ども達は日々成長していきます。

さて、話は変わりますが、今日は『国際平和デー(9月21日 記念日)』です。1981年の国連総会で制定され、2002年からこの日は「世界の停戦と非暴力の日」として実施され、この日一日は敵対行為を停止するよう全ての国・全ての人々に呼び掛けをしているそうです。

しかし残念ながら、世界では紛争や侵攻が起きています。これは非常に悲しいことです。人の命の重みを再認識し、人と人が認め合い、助け合える社会・世界を築いてほしいと願うばかりです。

太宰府西中学校では、これからも子ども達の心をさらに成長させ、将来、平和な社会・世界を築くことができる人を育てていきたいと思えます。

### ☆ 各学年の道徳授業の様子



3年生：しっかり考えたり、意見交流をしたりすることができています



2年生：活発に話し合いをし、意見をまとめています



1年生：2つに分かれ討論会形式の授業や、積極的な挙手が見られました

☆ 平和な社会・世界を築くために・・・



宇宙から見た地球には全く『**国境**』が見えませんが、争いのない平和な社会・世界になると、美しい地球であり続けることを祈ります。



太宰府西中学校から見た今日の風景です。真っ青な空と白い雲、白い校舎がきれいです。秋を感じる素敵な風景です。

この平和な社会を持続できるよう、太宰府西中学校では諸教育活動をとおして、優しく思いやりのある豊かな心をこれからも育てていきます。